

令和元年度 第12回 直江津区地域協議会

次 第

日時：令和2年2月18日（火）18:00 - 19:00

会場：レインボーセンター 第三会議室

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1 開 会 | 18:00 - 18:02 |
| 2 会長あいさつ | 18:02 - 18:05 |
| 3 議 題 | |
| 【報告事項】 | 18:05 - 18:55 |
| ・五智歴史の里会館における休館日等の変更について | |
| 【自主的審議事項】 | |
| ・直江津まちづくり構想について | |
| 4 その他 | 18:55 - 19:00 |
| 5 閉 会 | |

五智歴史の里会館における休館日等の変更について

1 変更内容

(1) 休館日

現在	変更後
12月29日から翌年1月3日まで	<u>毎週月曜日</u> <u>(月曜日が祝日に当たるときは火曜日)</u> 及び12月29日から翌年1月3日まで

(2) 利用時間

現在	変更後
午前9時から午後6時まで 利用予約があった場合は、午後9時まで	午前9時から <u>午後5時まで</u> 利用予約があった場合は、 <u>午後8時まで</u>

2 変更理由

以下により、同施設の指定管理者である五智歴史の里協議会からの協議を受けて、市が承認したもの。

- ・光熱費、人件費等の経費削減が見込める
- ・令和元年4月1日から時間外労働の上制限や年次有給休暇の取得義務化等を規定した「働き方改革関連法」が施行されたことに伴い、職場環境の改善に取り組む必要があるため

3 変更する日

令和2年4月1日

地域の課題について

■ H31. 2. 25、27 五智地区・直江津地区町内会長との意見交換会から

課 題	主な意見
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 一部の町内会を除き、地域全体として高齢化や少子化が進んでいる。 高齢化により要支援者が増加し、見守り活動等を行っているが、活動の担い手を確保するのが困難である。 孤独死の予防対策が必要。 町内会の役員や青年会の担い手がいない。 民生委員のなり手がなく苦慮している。
空き家	<ul style="list-style-type: none"> 空き家が増えている。町内会では所有者をつきとめられないケースもある。 危険な空き家について、個人の財産なので町内会としては対策に苦慮している。 一人暮らしの高齢者が多く、施設に入ることによって空き家になるケースがある。 家屋の所有者と土地の所有者が異なる場合が多く、空き家の利用が難しい。
環 境	<ul style="list-style-type: none"> 道が狭く、雪捨て場に困る。 子どもの通学路の安全が問題。(除雪など) 沢水や土砂流出が問題。 雁木通りの通路の段差が危ない。 海水浴場について、来訪者による水上バイクの騒音やゴミの放置などのマナーに問題がある。 地元住民は家の近くの海に入りたくても、ロープが張られているため海に入れない。 関川河川敷は雑草が茂り危険であるとともにゴミの不法投棄がある。 鏡池をきれいにしたい。 府中八幡宮の池をきれいにしたい。 海浜公園に時計が無く不便である。
観 光	<ul style="list-style-type: none"> 五智地区はかつて観光客が多かったが、今は少なくなった。 佐渡が世界遺産に認定されれば、佐渡へ行く人が増え、直江津、五智にも人が来るのではないかと。 五智地区は歴史があり、十念寺、親鸞聖人上陸の地、五智国分寺などをもっとPRすべきである。 うみがたりが開館したが、海岸周辺に食堂や店舗が少ない。 国分寺の境内には有名な石碑があるので拓本をして大勢の人の目にふれるようにしたらどうか。

■ H31. 3. 19 第 14 回直江津区地域協議会自主的審議から（主な意見）

- 地域の少子高齢化は、空き家や孤独死の問題に関係してくるが、地域で対策を練るには難しい問題である。
- 直江津区の中でも子どもの多い地域もあれば、高齢化が進み空き家の多い地域もある。見守り活動等が大変だという話もあるが、コミュニティをしっかりとすることが大事である。
- 若い世代に住んでもらえるようにしていかないと、高齢化を止めることはできない。
- 60代はまだ働いている人が多い。いわゆる団塊の世代がもう少しコミュニティ活動に参加してくれれば、地域に活気が出るのではないかと。
- 小学校の統合については、各地域に昔からの文化や考え方があるので、難しい問題である。

■ R1. 7. 16 第 5 回直江津区地域協議会自主的審議から（主な意見）

- 空き家対策は、法律的な問題もあるので、地域協議会がどこまで介入できるのか。
- 空き家の問題や動物多頭飼育の問題は条例を作らなければ対策は難しい。
- 空き家を放置することなく、人が住めるように斡旋するなど組織的に取り組めないか。
- 空き家の問題は税制上の問題も出てくるので難しい。
- 空き家の問題など意見書を出すためには、その下準備としての土壌作りが必要である。
- 空き家とともに雁木の問題も大事であり、雁木の通路の段差を改善すべきである。
- 空き家が増えている状況で雁木整備について地域協議会が関わるのは困難である。
- 雁木整備はある程度の団体（辻から辻ごと）にまとまって協力しないと行えない。
- 人口減少を止めるために、若い世帯に町に入ってきてもらえるような方法を考えればよい。
- 高齢化を止めるのは難しいが、地域協議会でアイデアをどんどん出していい。
- 少子高齢化については、日本全国の問題であり地域協議会で解決できる問題ではない。
- 再度、意見交換会を行い、それから議論の方向性を出していったらどうか。
- 町内により課題が違うので、地域協議会として何ができるのかを見つけることが大事。
- 地域活動支援事業に応募している団体の人たちと意見交換して認識を深めたらどうか。
- 資料の文言は、町内会長の意見を羅列したものなので、何を協議すべきか精査すべき。
- 「直江津まちづくり構想」は、どのような方向に向かっているのか分からなくなってきた。
- 地域協議会は課題を地域の皆さんと共有し、行政との橋渡しをすることが役割である。

■ R1. 10. 15 第 9 回直江津区地域協議会自主的審議から（主な意見）

- 「環境」について
 - 子どもの通学路の除雪については各町内で努力して対応されている。
 - 通学路の安全対策については、各町内で行政に要望したり、注意喚起をしたり、できる対策を講じている。
 - 国府 2 丁目の道路に土砂が流出した件については、行政から対応してもらい改善された。